



宮崎会長テーマ

『楽しくやろう・ロータリー』(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

14号 3356回例会 2024年10月10(木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生	康 乃馨 様
米山記念奨学会統括委員長	中 嶋 清 様
米山カウンセラー	西澤 孝夫 様

❀ 会長の時間 ❀

宮崎正文会長

今週の8日は「寒露」という日でした。「寒露」とは、二十四節季のひとつで、寒い露と書くように、「草木に冷たい露がおりる時期」という意味だそうです。この時期になると、朝晩の冷え込みがきつくなりますが、日中は澄んだ秋晴れの過ごしやすい日が多くなるそうです。やっといい季節になりました。



そして、「寒露」の時期には、伊勢神宮にて、例年10月15日辺りに「神嘗祭(かんなめさい)」が行われるそうです。神嘗祭は、その年に収穫した新穀を天照大御神(あまてらすおおみかみ)に捧げ、お恵みに感謝するお祭りです。天皇陛下が、伊勢神宮に遥拝され、日本各地の神社でも、神嘗祭遥拝式が斎行されています。古来より、お米を主食として生きてきた日本人にとって、神嘗祭は重要な儀式であり、その伝統は今日にも受け継がれているのです。ただ、8月頃は米不足がありましたが、もう大丈夫でしょう。そしてもうすぐ、おいしい新米が食べられますね。本当に食欲の秋がきました。皆さん、太りすぎには注意しましょう。

今日は、ロータリーの幹事のことを話させていただきます。自分も2017-18年度、関谷年度に幹事を仰せつかっていましたが、最初は何を行うのかよくわからなかったです。すべて、会長と当時の事務局の奥田さんがだいたいやってしまいましたから。

クラブ幹事の役割で、最も重要なものはクラブが効果的に機能するよう援助することだそうです。RIでは効果的なクラブを次のようなものとして4つのことを特定しました。

- ・会員基盤を維持、増強することができる
- ・地元社会ならびに他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施し、成功させることができる
- ・プログラムへの参加ならびに財政面での貢献を通じて、ロータリー財団を支援することができる
- ・クラブレベルを超えて、ロータリーで奉仕できる指導者を育成することができる

クラブ幹事には、理事会、クラブ委員会、クラブ会員、地区ガバナー、ガバナー補佐、国際ロータリー、RIのロータリー財団から、さまざまな情報が伝えられます。これらの情報をどのように活用すれば、クラブにとって役立つかを、よく検討してください。そして、クラブ幹事には、次のような責務があります。

- ・会員記録を維持する
- ・例会の出席を記録し、その月の出席者数を、毎月最終例会の後15日以内に地区ガバナーに報告する
- ・クラブ、理事会、委員会などの諸会合の通知を送付する
- ・クラブ、理事会、委員会の会合の議事録を作成し、これを保管する
- ・RIに対し、義務付けられている以下のような報告を作成します。
 - － 会員の半期ごとの報告
 - － 各正会員の人頭分担金についての報告
 - － 規定審議会のための追加会費の件
 - － 入会した新会員の件
 - － 退会者や住所変更など、会員の変更があった場合の変更事項
 - － 公式名簿の為のクラブ役員に関する情報
- ・ロータリーの友などの購読料を徴収し、送金する
- ・その他、通常、幹事によって行われている任務を遂行する等の役割があるそうです。その他にも、細かいところがたくさんあります。

🌸🌸🌸 講 師 卓 話 🌸🌸🌸

米山奨学生

康 乃馨 様



川越小江戸クラブから参りました、康 乃馨(コウ ナイケイ)と申します。ニックネームは「ハナ」です。現在、立教大学観光学研究科の博士後期課程に在学中です。

本題に入る前に、皆さまに一つ考えていただきたいことがあります。それは、「人生は運命によって決まるものなのか、それとも自分の努力や経験を通じて変えられるものなのか」という問いです。今日、ここでロータリー米山奨学生として皆さまの前に立つ「ハナ」は、実は、これまでの数々の経験や選択が積み重なった結果だと思っています。そこでハナがどのような経験を経て、奨学生としてこの道にたどり着いたのかをお話しさせていただきます。

ハナは中国の寒冷地の遼寧省・遼陽市の出身です。遼陽市は小さな町で、観光とは縁の薄い地域です。そんな環境の中で成長した私は、大学進学で遼寧省第二の都市である大連市に移り、「大連外国語大学」に入学しました。この大学は、1964年に設立された東北地方唯一の公立大学で、日本語専攻が非常に強く、多くの外交官や外務省関係者を輩出している学校です。

大連外国語大学では、立教大学のように一人暮らしの学生が多い環境とは異なり、全ての学生が学内の寮で生活します。私も同級生4人と一つの部屋で共同生活を送りました。そのため、ルームメイトとは自然と深い絆が生まれ、毎日を支え合いながら充実した4年間を過ごしました。授業は忙しい日々でしたが、友人との支え合いのおかげで、心温まる思い出が沢山できました。もちろん、大学生活には学業だけでなく、旅行などのレジャーも欠かせません。私たちは、北京、成都、上海などといった都市を訪れ、それぞれの街の魅力に触れる機会を楽しみました。特に、北京市の歴史的な雰囲気や、成都のスパイシーな火鍋、上海の活気に満ちた街並みが印象的でした。特に印象深い場所は北京市にある世界遺産「頤和園(いわえん)」です。頤和園は北京市中心部から約15キロ離れた場所があり、日本の江戸時代や明治時代と同時期に造られた皇室庭園です。約300年の歴史を持ち、現存する最も保存状態の良い皇室庭園として知られています。園内には、3000以上の建物や庭園があり、皇室庭園博物館とも称されます。頤和園が現在の姿になったのは、1900年の八国連合軍による破壊後、西太后が1902年に修復を

幹事は、定款と細則に完全に精通していなければならないようです。現在、細則は検討しているので大丈夫だと思いますが。そして、クラブ会費の請求をしていただき、会員に速やかに支払っていただくよう、催促もあります。理事会の議事録の作成、クラブ週報の確認、新入会員がいましたら、推薦の申請書は、幹事が関わってもらい、理事会に提出したり、職業分類委員会や会員選考委員会に審査してもらいますから、幹事の責任は、大きいです。

こちらからのお知らせや相手からの案内には、だいたい会長・幹事が連名で出します。というところが、幹事は偉いと思うので、田中さん、よろしくお願いします。ただ、例会で一番偉いのは、SAAです。

<幹事報告>

田中快枝幹事

1. 10月のロータリーレート¥142
2. 増強委員会でリストを作成いたしましたので推薦者の方は必ず勧誘していただけるようお願いいたします。
3. 今月の残りの例会はこの会場で
の例会はございませんのでご注意ください。



●委員長報告

[職業分類委員会]

滝沢文夫委員長

職業分類とは関係ないのですが、先日2020-22年度に私がカウンセラーをした米山奨学生のリラ君にネパールの大雨が心配でLINEで問い合わせしました。「カトマンズは大雨で大変ですが私の所は被害もなく大丈夫でご心配お掛けしました」と連絡がありました。



[親睦活動委員会]

菅野茂実委員長

来週の南RC合同例会出欠の締め切りは今日迄です。まだの方はご連絡ください。又、明日の家庭集会をナポリのかまどで18時半より開催しますので出席をお願いします。



[健康管理委員会]

山根輝彦委員長

今年もインフルエンザ予防接種を12月5日におこないます。希望者は本日回覧しています用紙にご記入お願い致します。



米山記念奨学委員会 一柳達朗推進会委員長

康乃馨さんの世話クラブは川越小江戸RC。現在「立教大学 新座キャンパス博士課程2年生」。2015年に大連外国語大学を卒業後、企業に6年ほど勤め、2021年に立教大学観光学研究科修士課程に入学し、翌年日本に帰国。2023年に「同大学博士課程」に入学し現在に至ります。私も今日の卓話を楽しみしています。



進めた時期です。歴史的には、かつて皇帝専用の空間であり、一般の人々には入れませんでした。1914年の中華民国成立後に有料で開放され、1953年には一般公園となりました。1988年には、文化遺産として世界遺産に登録され、中国庭園デザインの傑作として高く評価されています。頤和園は、自然の景観を取り入れた庭園設計が特徴です。昆明湖や万寿山を組み合わせた風景は美しく、特に冬になると湖が凍り、夕日が湖面に反射して金色に輝く光景は、まさに絶景です。今では、毎日18万人がこの美しい庭園を訪れ、非日常の体験を楽しんでいます。このように、大学の4年間は楽しくて、笑いながら過ごしました。

大学卒業後アメリカ系企業「Hewlett Packard Enterprise (HPE)」で2年間働き、アジア市場向けのデータ管理を担当しました。仕事は順調でしたが、2016年に上海ディズニーランドを訪れたことを切っ掛けに、「もっと広い世界を見たい」という思いから、HPEで得た経験を胸に、2017年に上海に移り、資産管理会社で秘書として働きました。

上海では2017年から2022年まで5年間暮らし、充実した毎日を過ごしました。仕事内容としては、社長の会議や出張のスケジュール管理、部門間のコミュニケーションなど、多岐にわたる業務を担当していました。非常に忙しい日々で、1か月間出張が続いたこともあり、深夜12時を過ぎても仕事が終わらないことも珍しくありませんでした。そんな忙しい生活の中で、有休休暇を利用して旅行に出かけることが唯一の楽しみでした。私はベトナム、カンボジア、ミャンマーなど東南アジアの発展途上国を中心に訪れ、各地の異文化に触れる事ができました。

日本を初めて訪れたのは2018年に東京都を中心に旅をし滞在中、日本の食文化の奥深さと、ホテルや飲食店でのスタッフの丁寧なおもてなしに心を打たれ、滞在4日間では短く、もっと日本を知りたいという思いが募り、同年12月のクリスマスには再び訪日し、今回は大阪と神戸を巡りました。観光体験を通じて、日本への興味がさらに深まり、2019年には「日本で学びたい」という強い思いを抱くようになりました。私が本格的に留学を決意したのは、2019年に新型コロナウイルスが世界的に拡大した後のことです。多くの人々の命が奪われる中、「このままで人生を過ごしてよいのか？もっと広い世界を見てみたい」という思いが芽生えました。そこで、2020年7月から留学の準備を始めることにしました。

観光学を選んだのは、世界とのつながりを深める学問であり、私自身の関心と一致していたからです。志望校として、1998年に日本で初めて

観光学部を設立し、権威ある立教大学観光学研究科を選びました。言語能力、研究計画書、観光学の基礎知識など、全てを一から準備する必要がありました。仕事を続けながらの準備は大変でした。一般的な出勤時間は朝9時でしたが、毎朝7時には会社に到着し、仕事の前に2時間ほど英語や日本語の勉強をしました。退勤後も、家に帰らず図書館や喫茶店に直行し、夜22時まで勉強を続けました。それでも時間が足りないと感じていたため、週末の2日間も朝8時半から夜8時まで図書館で過ごし、集中して勉強しました。こうした努力を半年間続けた結果、2021年2月に立教大学と北海道大学の両方から合格通知を受け取りました。立教大学は東京に近く、就職の面でも利便性が高いと感じました。キャンパスの雰囲気も魅力的で、さらに観光学の分野で権威があり、私にとってより親しみやすく感じられたため、立教大学の修士課程に進学することを決めました。

しかし、修士課程の生活は決して簡単なものではありませんでした。研究はもちろん、授業や課題の量も多く、深夜2時、3時まで取り組むことも日常茶飯事でした。時には徹夜で課題を仕上げることもありました。観光学は学際的な分野であり、多様な視点から観光現象を研究します。そのため、2年間で観光者行動論、観光まちづくり、観光地理学など、さまざまな分野の知識を身につけることができました。

また、自分自身の観光経験を生かし、訪日中国人観光者の東京における飲食選好に関する研究を進めました。中国のロコミアアプリで収集した738軒の飲食店と7000件以上の投稿データを分析し、日本語で修士論文を書き、日本地理学会全国大会や、日本観光研究学会などで3度の学会発表をしました。

研究成果以外に、立教大学で「外国人留生成績優秀奨学金」や「大学院給与奨学金」、「外国人留学生奨学金」など約140万円の奨学金を支援いただいて、お陰様で多くの美味しい料理を楽しむことができました。しかし、日本社会をより深く理解し、友人との交流を楽しむためには、アルバイトも欠かせませんでした。そこで、昨年1月から星野リゾート東京赤坂「OM03」でアルバイトを始めました。このアルバイトでは、日本人や外国人観光客と直接触れ合う機会に恵まれ、さまざまな価値観に触れることができました。これにより、日本社会だけでなく、世界全体をより広い視点で見られるようになったと感じています。

こうして振り返ると、私の過去のさまざまな経験が「今のハナ」を構成しています。冒頭でお話した「人生は運命に左右されるのか、それとも自分の努力で変えることができるのか」と

いう問いに対する私の答えは、人生は努力と挑戦によって変えられるということです。そして、観光を通じて新たな視点を得ることで、さらに大きな変化をもたらせると確信しています。

「米山記念奨学会統括委員長」 中嶋清様

こんにちは鶴ヶ島ロータリークラブの中嶋です。今年度統括委員長を仰せつかっております。入間クラブさんには水村パストガバナー、忽滑谷さんに大変いつもお世話になって先輩として尊敬しております。



卓話月間で10月から回り始めまして、今ちょうど中間程度です。奨学生の皆さんも凄く各クラブ行って一生懸命卓話していただいて大変好評です。

米山奨学会は、日本全国のロータリー会員の寄付を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しております。この事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念し、発足しました。

1952年に東京ロータリークラブで構想が立てられ、やがて日本全クラブの共同事業に発展し、1967年に文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山奨学会となりました。2012年1月に公益財団法人に移行し、2017年には財団創立50周年を迎えました。

これまでに131の国と地域から、2万3,509人の奨学生を支援し、規模と実績ともに、民間最大の国際奨学事業となっています。特徴は、この事業の真髄ともいえるのが、世話クラブカウンセラー制度です。奨学生1人1人に、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーがついて、奨学生との交流を深め、日本での生活が心豊かなものになるように配慮しております。

使命として、将来日本と世界を結ぶ架け橋となって、国際社会で活躍し、ロータリーのよく理解者となる人材を育成することです。これはロータリーを目指す世界平和と国際理解推進そのものです。ロータリーは寄付金によって成り立っているものです。今後とも米山委員会としましたら、特別寄付をしていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

<出席報告> 駒形一人委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
38名	26名	74.2%	110.5%

事前欠席連絡 6名

<ニコニコBOX> 細淵克則 S A A

🌸 米山カウンセラー川越小江戸RC 西澤孝夫様
本日はお世話になります。奨学生の康さん卓話頑張ってください。

🌸 米山記念奨学会統括委員会 中嶋清様
本日は康さんの卓話に同行しました。一柳さんにはいつもお世話になっています。

🌸 宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君, 細淵克則君, 駒形一人君, 一柳達朗君, 駒形一人君
米山統括委員長 中嶋清様, 米山カウンセラー西澤孝夫様, 奨学生康さん, ようこそ入間RCへ卓話楽しみにしております。

🌸 豊田義継君
旧軽井沢ゴルフクラブのゴールドシニア選手権、優勝しました。

🌸 津藤淳也君
私用で山形に帰郷しています。康さん本日の卓話宜しくお祈りします。

🌸 滝沢文夫君
今月より血圧の薬を服用するようになりました。

🌸 宇野健一君
久しぶりの参加になります。よろしくお祈りします。

本日¥16,000 累計¥293,000

■回覧、配布物

- ① 国際交流 NEWS No. 130
- ② 地区大会のご案内
- ③ インフルエンザ予防接種のお知らせ
- ④ プログラム 10, 11, 12 月
- ⑤ フードバンクいるま 粉ミルク代について
- ⑥ 合同例会のご案内と出欠表
- ⑦ 10/17 ゴルフコンペご案内と出欠表
- ⑧ 10/26.27 万燈まつり出欠表&反省会出欠表
- ⑨ 創立 65 周年記念式典プログラムと出欠表
- ⑩ 地区大会 2 日目出欠表
- ⑪ 他ロータリークラブ週報
- ⑫ 週報 13 号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

